

阪口哲男

- 研究室: 7D棟3階、7D312号室 (注: 下記参照)
- メール: saka あつと slis.tsukuba.ac.jp
- WWW: <http://www.sakalab.org/>
- 共同研究室: 情報メディアユニオン3階(最奥)
 - 正式名称「学系共同研究スタジオ(3)」
 - 鈴木伸崇研究室と共同利用
 - ここ数年はほとんどこの部屋にいます
 - 研究室メンバー: 現在はB4が3名

2017/4/20

情報メディア演習A

1

動いてナンボの阪口研

- 情報を扱う上での様々な問題を解決したい
 - 「なんかこんなことでけへんかな?」と考えて、
- 「考えた」手法は本当にいけるのか?
 - 実際に作って、動かさどうかを確認・検証する
 - つまり、「動いてナンボ」
- ただし、「動いてナンボ」は必要条件
 - 単に動かすだけでは十分ではない
 - 動かした上で評価する

2017/4/20

情報メディア演習A

2

テーマの方向性(阪口研)

- 情報共有・伝達基盤技術
 - 情報の共有や伝達を快適に行う(大目標)
 - そのために様々なアプリケーションシステムが構築されている
 - 「快適」には「安全」や「安心」も含まれる
- その構築を支える技術の開発が元々の目的
 - 例題としての構築そのものも対象にする
- そのシステムは快適か? 開発上の課題は?
 - そういったことの改善を目指したい

2017/4/20

情報メディア演習A

3

最近のトピック

- Crowd4U/FusionCOMPプロジェクトに参画
 - Human-Computation
 - 森嶋教授と共同
- Linked Open Data/Linked Data関係
 - 目的にあうデータ提供元をどう探すか?
 - そのDBのデータ収集やQuery構築支援などなど?
 - Crowd4Uとも組み合わせたい
- Webベースのシステムのセキュリティ

2017/4/20

情報メディア演習A

4

直近の修論テーマ例 (阪口)

- 2016年度
 - Linked Dataクエリ構築支援のための日本語文に基づくグラフ構造の生成 →途中経過をWebDBforum2016にて口頭発表
- 2014年度
 - Web ページとしての類似性を利用したLinked Data リポジトリの自動収集手法 →情報知識学会で発表(2015年年次大会)
- 2012年度
 - Web APIドキュメントからの情報抽出によるプログラムライブラリ作成支援
- 2009年度
 - メール配送系における多様な迷惑メール対策の統合管理手法 →情報処理学会の研究会で発表、学生奨励賞受賞
- 2008年度
 - キリルモンゴル語Webページの縦書きモンゴル語への自動変換システム

2017/4/20

情報メディア演習A

これまでのテーマ例(阪口研)

- これまでの主要なもの?(含卒研)
 - SPARQL Endpointの発見・探索手法
 - Query構築支援(継続中???)
 - その他
 - HTML5を用いた公開鍵認証
 - Web APIのプログラムライブラリ自動生成
 - RSS記事閲覧での情報推薦
 - 言語非依存型迷惑メール対策(いろいろ)
 - デジタル図書館におけるメタデータ関連(いろいろ)
 - More... (太古にはプログラミング言語開発等も)

2017/4/20

情報メディア演習A

6

その他&まとめ (阪口)

- 原則として修論テーマは外向けに発表
- 合同ゼミ: 杉本研、森嶋研、永森研
 - 毎週水曜夕方
 - 関連テーマでやる可能性も有?
- 連絡先: **saka あつと** slis.tsukuba.ac.jp
- Web: <http://www.sakalab.org/>
 - Googleで「阪口哲男」で検索
- 居場所: ユニオン3F、7D312
- 気になることがあれば、お尋ねください

2017/4/20

情報メディア演習A

7